

奨学金返済、卒後の不安材料に

状況把握し、柔軟なキャリア形成を

奨学金の返済は、薬学生にとって卒後の不安材料の一つだろう。毎月どれくらいの金額を、いつまで返済し続ける必要があるのか。滞納するとどうなるのか。状況を正確に把握し正面から向き合うことで、過度な不安に陥ることなく、柔軟なキャリア形成を考えられる。このほど大阪市で開かれたユニヴの「薬剤師・薬学生のための奨学金サポート企業就職説明会」には、奨学金アドバイザーとして全国で活躍する久米忠史氏(まなびシード代表取締役)が登場。滞納時のリスクや奨学金返済の道筋を薬学生に解説した。

学費の高騰を背景に、いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用する時代になった。特に、私立薬系大学の学費は高く、6年間で1000万円を超える。「保護者の収入だけで進学させるのは困難。奨学金が必要不可欠になっている」と久米氏は語った。

日本学生支援機構の奨学金が最も利用されている。中でも、有利子の貸与型奨学金を借りている学生が多い。例えば有利子の第二種奨学金を月額10万円、6年間借りた場合、卒後20年間毎月3万円以上を返済し続ける必要がある。

返済を滞納するとどうなるのか。同機構の奨学金は金融事業に位置付けられているため、滞納するとペナルティとして5%の延滞金が課され、翌

月の返済額と合わせた一括返済が求められる。督促を無視し滞納が3カ月間続くと、その情報が個人情報情報機関に登録される。

こうしてブラックリストに載ってしまうと返済完了後5年が経つまでその情報は消えない。その間、クレジットカードが使えなかったり、住宅ローンを組めなかったりするなど不利益を被ることもある。滞納4カ月後は、債権回収会社に回収が委託される。滞納9カ月以降は裁判所を通じて法的措置がとられ、給料などを差し押さえられる可能性がある。「奨学金の返済からは逃れられない」と久米氏は釘を刺した。

返済できずに自己破産すると、人的保証を選択した場合には連帯保証人が



奨学金アドバイザー久米氏が解説

返済義務を負う。連帯保証人は親が務めることが多い。退職後に多額の債務を負うと、親も自己破産に追い込まれる場合がある。そうすると次は、親戚などが務める保証人に返済義務が及び、自己破産が連鎖する可能性がある。

返済困難者に対して、毎月の返済額を減らして返済期間を延ばしたり、返済を保留したりするなど猶予措置は設けられているが、年収300万円以下の

場合にしかこの措置は認められない。薬学部の学費は高く、年限も長いいため返済の負担が大きいのに「このようなセーフティネットからこぼれおちている」と久米氏は問題点を指摘した。

多くの大学生は、毎月の返済額や返済年数を知らない。「奨学金の上限利率は3%に決められている。この数字を実際の利率だと勘違いする学生がいるが、そうではない」と久米氏。今年3月に第二種奨学金が貸与終了となった人の場合、その利率は固定方式で0.33%、変動型の利率見直し方式で0.01%と低い。実際の利率を認識し、返済計画を考える必要があるという。

固定型と変動型、どちらの金利を選択するのは悩みどころだが、貸与終了年度の一定期間内の変更は可能だ。「終了年度の夏休み明けくらいにそれぞれの利率を確認し、いつまでだったら変更できるのかも大学に確認して、どちらがいいのかを判断してほしい」と久米氏は話した。

奨学金は繰り上げ返済できる。手数料は無料だ。繰り上げ返済によって返済期間は短くなり、利息も節約できる。「奨学金の利率は低い。収入の全てを繰り上げ返済に充てるのではなく、貯金も増やしなが、年に1回まとまった金額を繰り上げ返済することをお勧めしたい」と久米氏。「まずは待遇のいい職場に勤めて、奨学金を早期に返済しながら上手にキャリアアップしてほしい」と呼びかけた。

ファーマシスト倶楽部

薬剤師国試過去問題アプリ 第102回含め無料提供開始

薬学生支援サイト「薬剤師国家試験対策.com」(<http://be89314.com>)を運営するファーマシスト倶楽部(本社大阪市)は、スマートフォンアプリ「薬剤師国家試験過去問題集2017」の配信を開始した(App Store/Google Playで配信中)。

今年2月25、26日に行われた第102回

国家試験の問題も収録している。

今回から関西を中心に100店舗以上の薬局を運営するプチファーマシストの協力を得て、アプリの無料化が実現した。

同アプリは、会員登録は一切必要なく、薬剤師国家試験の過去問題を様々な方法で学習できる。過去12年間(第91回～第102回)に出題された問題を全て収録

しており、スマートフォン用に最適化したインターフェイスで、ダウンロード後は通信を必要としないため、移動時間や空いた時間などいつでも国試対策が可能。

過去問題は回数・科目の枠を超えて、収録されている全ての問題から出題する(ランダム出題)。キーワード検索により同じ科目の問題や、特定の薬物に関する問題だけを抽出することができる(検索機能)

また、解答した試験モードの正解率や、トライアルモードの最高記録を保存・管理し、毎日の学習の成果をいつでも確認できる。



『ダメ。ゼッタイ。』だけで大丈夫!?

危険ドラッグ問題の表と裏

～学生に知ってほしいこれからの薬物乱用防止について～

[著] 加藤 哲太・北垣 邦彦・嶋根 卓也
益山 光一・松田 勉・安田 一郎

薬物乱用問題について様々な立場や専門性を持つ著者達が、危険ドラッグを中心とした薬物乱用の問題点や正しい知識、防止教育のあり方についてやさしく解説。

「ダメ。ゼッタイ。」による一次予防にとどまらず、使用者・依存者の早期発見・介入、治療・リハビリなど二次・三次予防による再発防止の重要性について正しく理解できる

危険ドラッグ等の規制薬物だけでなく身近な医薬品の乱用や処方薬乱用において期待されるゲートキーパーとしての薬剤師の役割がわかる

学校薬剤師が小・中・高校生の薬物乱用防止教育の授業を行うために役立つ内容も掲載



薬事日報社

A5判/146頁/定価2,300円+税

薬事日報社 ご注文は、オンラインショップ(<http://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。